

# 可視異物 安価に検査

## クリーン室用 大きさ・量把握

NTT-AT  
クリエイティブ

# システム共同開発

NTTグループのNTT-ATクリエイティブ(松茂町)は、徳島県立工業技術センター(徳島市)などと共同で、クリーンルーム(無塵作業室)の可視異物を検査するシステム「ダスカー12」を開発した。食品や家電製品などの製造過程で問題視される大きさの異物について、サイズや量を低コストで検査できる。2013年4月の発売を予定している。

NTT-ATクリエイティブが独自に商品化した検査用の粘着シート「ダストサンブラー」



NTT-ATクリエイティブが開発した異物検査システム「ダスカー12」を操作する従業員＝松茂町の同社

を、クリーンルームの出入り口など検査したい場所に設置。異物をとらえた粘着シートを市販のスクャナーで読み込み、県立工業技術センターや徳島大学と共同開発した分析ソフトを使って、異物の大きさと個数を集計する。このデータと、顕微鏡による観察で判別した異物の種類を合わせて分析することで、異物侵入経路の特定や改善策の策定に役立ててもらおう。

従来の異物検査システム

ムは、半導体製造工場などでの利用を前提に、空气中に浮遊する0・1ミクロン(1ミクロンは100万分の1ミ)程度の微小異物を対象としており、精密で高価なものが中心だった。

NTT-ATクリエイティブでは、食品加工や家電製造といった洗浄度

が比較的低いクリーンルーム向けの検査システムの需要があることに着目。測定対象を繊維片など、重力によって沈む300ミクロン以上の異物に絞り込み、簡便で安価な検査を実現した。

ダスカー12の販売予定価格は18万9千円(ダストサンブラー100枚付)。異物の目視確認と保護ができるダストサンブラーは、20枚入り2100円で販売中。

NTT-ATクリエイティブは02年、NTTグループで先端技術開発事業を手掛けるNTTアドバンステクノロジ(東京)の子会社として設立。光ケーブルの接合部分を清掃する光コネクタ用クリーナーの製造で、世界トップシェアを持つ。県内企業や試験研究機関と連携した新規事業の開拓にも意欲的に取り組んでいる。

(湯浅翔子)